



2023年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社 梅の花
代 表 者 名 代表取締役社長 本多裕二
(コード番号: 7604 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役経理部長 兼 総務担当
増村政信
(TEL 0942-38-3440)

(開示事項の経過)連結子会社の吸収合併に関するお知らせ

当社は、2023年2月8日付「連結子会社の吸収合併に関するお知らせ」にてお伝えしております当社の完全子会社である株式会社丸平商店(以下、「丸平商店」)の吸収合併につきまして、本日開催の取締役会における決議に基づき、本日、本吸収合併にかかる契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本合併は完全子会社の合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

また、本合併につきましては、第44回定時株主総会での決議されることを条件としております。

記

1. 合併の目的

当社グループにおける事業再編の一環として、連結子会社の機能を取り込むことで、業務の合理化・効率化及び収益の向上を図ることを目的に、連結子会社の吸収合併を行うことといたします。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

| | |
|-------------------|----------------|
| 合併契約承認取締役会決議(当社) | 2023年5月10日(本日) |
| 合併契約承認取締役決定(丸平商店) | 2023年5月10日(本日) |
| 合併契約締結 | 2023年5月10日(本日) |
| 合併承認株主総会決議(丸平商店) | 2023年7月25日(予定) |
| 合併承認株主総会決議(当社) | 2023年7月(予定) |
| 合併予定日(効力発生日) | 2023年8月1日(予定) |

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社丸平商店は解散いたします。

(3) 合併に係る割当の内容

本合併は、当社の完全子会社の吸収合併であるため、株式及び金銭等の割当はありません。

(4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当該事項はありません。

3. 合併当事会社の概要

| | 存続会社 | 消滅会社 |
|------------------------------------|--|----------------------|
| (1) 名称 | 株式会社梅の花 | 株式会社丸平商店 |
| (2) 所在地 | 福岡県久留米市 天神町146番地 | 山口県山口市 秋穂二島437-49 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 本多裕二 | 代表取締役 本多裕二 |
| (4) 事業内容 | 食品製造業 | 水産加工品製造業 |
| (5) 資本金 | 100百万円 | 10百万円 |
| (6) 設立年月日 | 1990年1月31日 | 1990年2月6日 |
| (7) 発行済株式数 | 発行済株式総数 8,211,200株 普通株式 8,209,200株 A種優先株式 2,000株 | 普通株式 209株 |
| (8) 決算期 | 4月30日 | 4月30日 |
| (9) 大株主及び持株比率 (2022年4月30日現在) | 梅野 重俊 5.40% 梅野 久美恵 4.71% エフ・ツー・オー リテイリング 4.67% 株式会社 株式会社ヒデベア 3.02% 麒麟麦酒株式会社 2.51% | 株式会社梅の花 100.00% |
| (10) 直前事業年度の財務状態及び経営成績 (2022年4月期) | | |
| | 2022年4月期 (連結) | 2022年4月 (個別) |
| 総資産 | 28,699百万円 | 831百万円 |
| 純資産 | 3,132百万円 | △314百万円 |
| 1株当たり純資産 | 116.24円 | △1,503,804.33円 |
| 売上高 | 22,591百万円 | 782百万円 |
| 営業利益又は営業損失 (△) | △1,630百万円 | △148百万円 |
| 経常利益又は経常損失 (△) | △1,792百万円 | △148百万円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益又は 当期純損失 (△) | 171百万円 | △235百万円 |
| 1株当たり当期純利益又は 当期純損失 | 19.58円 | △1,127,917.77円 |

4. 合併後の当社の状況

本合併により、商号、本社所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併は、当社完全子会社の吸収合併のため、連結業績に与える影響は軽微であります。

当社個別業績においては、消滅会社である丸平商店が債務超過であるため効力発生日時点の丸平商店の債務超過額に相当する合併差損が生じますが、当社は2022年4月期末における丸平商店の債務超過額について、全額を貸倒引当金として計上済みであります。

以上